

## 第2回（仮称）野洲市民病院整備運営評価委員会\_会議結果報告書〔確定〕

平成28年12月7日  
地域戦略課

### 1. 開催概要

- (1) 日時場所：平成28年11月1日(火)13時30分～16時30分  
コミュニティセンターやす 2階研修室
- (2) 出席委員（敬称略）：学識経験者（塩田浩平、及川清昭）関係機関等（廣原恵子、福田正悟、岡田裕作）市民委員（竹内政博、水谷威彦、懸戸美栄子、青木雅子）
- (3) 欠席委員（敬称略）：学識経験者（福山秀直、今中雄一、白井宏昌）
- (4) 出席職員：山仲市長、大藤政策調整部政策監、駒井地域戦略課課長補佐、同飯田主査、同吉山主査、同田中主任、同上野主事

### 2 会議結果

- (1) 本委員会での専門部会の設置と部会員の選出について

《事務局説明》資料3のとおり

《質疑、意見等》

- 部会の設置について異議なし
- 委員長の指名により部会員に福山委員、及川委員、今中委員、白井委員、廣原委員、（福田委員）が選出、専門部会長には及川委員が就任。

- (2) 基本設計\_ブロックプランの検討素案について

《事務局説明》資料4のとおり。下記の意見を基に今後開催する専門部会にて議論する。

《質疑、意見等》

**福田委員**

- レストランは施設の前に交流商業施設が出来る。また原案も40㎡程度でそれほど大きくない。そういった兼ね合いから考えると、コンビニは要るがレストランまでは要らないのではないかな。
- リハビリの室を3階に設定しているが、リハビリは外来で利用する人も多い。また回復期の人も多いので、外来と同じ2階に置いた方がいいのではないかな。
- レストランの分で、放射線科を1階に下ろして、放射線科のところにリハビリを入れるなどの都合のつけ方もあるのではないかな。
- 検体検査も、生理採血との横の流れがあると思うので、3階の検体検査室も2階に下ろすと3階を広げられるのではないかな。

**廣原委員**

- 病院は今後30年くらい先も見通して設計する必要がある。総合案内が1階にあり、2階に外来機能を置いているが、増加する高齢者の利便のことを考えると、外来を2階にすることについては十分に検証しておいた方がいいのではないかな。他でも検討事案になったことがある。
- 健康管理センターの機能が充実されることはいいと思うが、1階の一番いいところが健康センターになっている。健康センターに来られる方は比較的元気な方なので、逆にこれは2階でいいのではないかなと感じた。

- CT、MRI、レントゲンは水平移動で横にあるほうが動線がよい。
- 透析はどここの病院も増えている状況だと思う。透析専門の機関が野洲市内にあればいいのだが、無い状況で市民病院が一手に引き受けることになるのならば設定床数を精査されるべき。

#### 竹内委員

- 病院は建てる場所は市民に一番便利なところに、建て方は一番使いやすいように建てるべきだと思う。
- 2階の駐車場から来られる方もあるだろうし、バス停や駅から来る人も多いだろう。そこで動線として、総合案内が1階にあるが、2階の駐車場から来られても初めて等で分からなかったときは総合案内へ行かれるのではないか。そのときにエスカレータがないのは如何か。他所の病院でも1階と2階の連携にはエスカレータを何機か置いている。基本的に市民が使いやすいようお願いしたい。

#### 青木委員

- 2階部分に外来をもってきているが、子どもを抱えた人も1階上がってもらわないといけない。動線からすると1階に外来があったほうがいいのではないか。  
→ (市長) 250台の駐車場は全部2階からアクセスする、また野洲駅が将来的に改築され、北口から入ってくると2階のアクセスになる。バスの方だけが1階になる。
- 雨天の日等には、病院に乗りつけて入る一般車も増えると思われる。その場合、患者さんを降ろして出るときの車の動線として、ここは一方通行であるが、問題ないか。  
→ (事務局) 祇王井川に沿っている道については、現状、一方通行にはなっている。ただ、病院のここは6mの2車線の道路であり、このところについては、野洲の中央線に出るまでは相互に通行ができるという状況である。

#### 岡田委員

- 1階と2階の構成であるが、1階には重量が大きくて2階に置けないものを置いてまずは詰めていくことになり、MRI、CT、結石破碎機はその関係で1階に置かなくてはならない。それと救急や外部業者の搬出入関係の施設は1階の裏に必然的に決まってくる。こういったことから、動線のほか1階に外来を置くことは面積的な制限もあって難しい。
- 透析のベッドは15~20ベッドくらいで比較的少ない。ただし夜間透析をやっている関係で夜間も出入りしやすくする必要があり、3階ではなく2階に配置されている。

#### 懸戸委員

- 病院は病気になって行くのではなく、病気にならないためにどうしたらいいかという取り組みができる設備もあれば、また違った意味で行く目的が出てくると思う。例えば今は食育が重要視されているので、一般の市民に啓発するための場所が病院の中にちょっとでもあれば、病院に診察にこられた方とかお見舞いにこられた方に見ただけで良いなと思った。健康づくりの講座とかもできたらいいなと思った。

#### 水谷委員

- ▶ 立体駐車場やJRからのアクセスを考えると外来は2階でもいいと思う。近隣の駅を見ても、商業施設に2階からアクセスするところが多い。

**白井委員**※ご欠席のため、意見のご紹介

- ▶ レストラン、コンビニ共に十分な面積が取れていないので、例えば、コンビニだけにする場合、多面的な機能（飲食可能なスペース設置等の工夫）を持たせて駅前の位置活用のメリットを活かすことも大切。この場合、レストランは交流商業施設に移動となるが、駅前施設の全体での効果を最大限発揮する工夫が必要であるので、駅前施設全体の機能を考慮した慎重な検討を要する。
- ▶ 総合案内横のエレベータは、贅沢になるようだったら無くても可。但し、この場合、階段をエスカレータにすることが条件。どちらかと言うとエスカレータの方が良いと思う。
- ▶ 夜間の動線は、立体Pにエレベータが付くなら、前面道路を横断して1階の夜間出入り口からの動線でもやむを得ないとする。
- ▶ 吹き抜けの天井材を木質にした方が建物全体のイメージが良くなるのでは？木に似せた樹脂材は安価なので費用面も抑えられると考える。
- ▶ 総合受付前の交流施設との渡り通路（建物内部）の幅員を拡大することで、人が集まる空間に余裕が出る。
- ▶ 手術室前の家族控室は窓付きにした方が利用者の心理的にも良いと思う。

### (3) 仮称野洲市民病院事業推進のための具体的方策について

#### ①新病院開院準備のための具体的方策について

#### ②御上会野洲病院からの資産等機能の承継方法等について

《事務局説明》資料5「p. 29-40」のとおり

《質疑、意見等》

※質疑、意見なし

#### ③駅前駐車場の効率的整備のための具体的方策について

#### (4) 今回の具体的方策による病院事業収支及び一般会計への影響額について

《事務局説明》資料5「p. 41-44」および資料6のとおり

《質疑、意見等》

**委員長**

- ▶ 駐車場の使用料金について、外来患者さんは無料なのか。  
→（事務局）外来の患者は無料と考えている。一般的にはお見舞いの方については有料になるかと想定している。運営に関する細かい設定については、今後の検討課題である。

**及川委員**

- ▶ 当時、野洲病院の現在の土地と建物をどう事業計画に組み入れていたのか。全く別にしていたのか。  
→（事務局）今までの収支計画では、現野洲病院の資産の処分や承継、施設の除却費用などについては、一切考慮をしていなかった。今年の7月に野洲病院と協定を結び、かなり情報共有ができたことから、より具体的なものとして、今

回、収支の内容をさせていただいた。

**青木委員**

- ▶ 今、御上会野洲病院さんは介護保険のデイサービスもやっておられる。今後その介護保険のデイサービスはどうされるのか。
- (事務局) 御上会から、その点について既に協議を正式にいただいております。現在高齢福祉部門のほうでその取り扱いを検討中である。

※異議なし。原案承認。

(5) (仮称) 野洲市民病院の正式名称について

《事務局説明》資料7のとおり

《質疑、意見等》

**委員長**

- ▶ お示しいただいた候補の票差はどうであったか。
- (事務局) 「野洲市民病院」と「野洲市地域医療センター」が僅差であった。

**竹内委員**

- ▶ 分かりやすい市民の病院ということで、この中では「野洲市民病院」がいいと思う。

**青木委員**

- ▶ 市民の健康を守る上では、地域医療センターというのもいい案だとは思いますが、高齢者の方からすると、野洲市民病院のほうが馴染みよい。「病院」のほうが親しみが持てる。

**懸戸委員**

- ▶ 野洲市民病院というと、いつも今までのような身近な感じで、親しみがある。

※第一案として、野洲市民病院を設置条例案に定めることに決定。